

令和7年12月3日

## 令和7年度 第2回 大阪市立長原小学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立長原小学校

校 園 長 名 市場 達朗

日 時	令和7年12月2日（火）午前10時50分から午後12時30分	
場 所	長原小学校 多目的室	
出席者	委員など	四辻 伸吾（会長） 鈴木 光一（委員） 橋本 綾佑（欠席） 高田 亜希（委員） 林田 加奈子（委員） 大野 大輔（委員）
	校 園	市場 達朗（校長） 丸岡 桂（教頭） 岩元 大輔（教務）
	区役所	欠席
議 題	① 令和7年度「運営に関する計画（中間評価）について」 ② 令和7年度「全国学力・学習状況調査の結果」について ③ 令和7年度「長原タイム（探究学習）」について ④ 意見交換	
協 議 要 旨	協議の結果	
	<上記議題について、生成 AI (NotebookLM) による動画解説された資料による提示> また、 <長原タイムの様子を動画にて提示>  ・学校体制の維持・継続・進化のためには地域との融合が不可欠であり、今後の CS 機能の充実を図っていく必要がある。	意見の概要  ・地域の商業施設（イオン）との連携方法や工夫について交流する。 ・地域との窓口を学校から切り離すことで、持続可能な活動となっていく。（CS 活動の推進） ・学力向上のためには「学び合い」や「自由進度学習」などをより効果的に行う。 ・「やらされ感」から「やりたい感」への転換が必要 ・先生たちとの仲をもっと深めていきたい。 ・様々な行事からどんな学びを得るのか？ ・内部環境の整備の遅れを取り戻す。 ・認知能力をどう活用して、発揮していくのかを行事を通して学んでいく。 ・総合的な学習の時間に活気のある学校はいきいきしている学校である。 ・教職員は「風」、地域は「土」だからこそ、地域との融合が大切。
協 議 資 料	・令和7年度「運営に関する計画（中間評価）について」 ・令和7年度「全国学力・学習状況調査の結果」について	
備 考	傍聴者[ 15 ]名	
	児童5名、ホワイト・ボードミーティング®開発者 ちょんせいこさん、 文部科学省 CS マイスター 大谷裕美子さん、福岡県私学協会8名	